

役場庁舎・消防庁舎建設に関する住民説明会要旨

説明会	役場庁舎・消防庁舎建設に関する住民説明会			
開催日時	令和5年8月3日 18:00～20:33	令和5年8月4日 18:00～18:46	令和5年8月7日 18:00～19:18	令和5年8月8日 18:00～18:51
開催場所	中央公民館	蛇浦公民館	桑畑公民館	下風呂公民館
参加者	住民:30人	住民:13人	住民:20人	住民:14人
事務局	風間浦村総務課			
配布資料	役場庁舎・消防庁舎建設に関する住民説明会 (別紙)風間浦村財政運営計画			
説明内容	1.庁舎等の配置計画 2.基本設計 1)役場庁舎 2)車庫兼書庫 3)車庫兼防災備蓄倉庫 4)消防庁舎 5)防災倉庫 3.概算事業費 4.財源 5.今後のスケジュール 6.財政運営計画			
意見・質疑				
易国間地区				
〔意見・要望について〕				
問	これからの意見・要望は今後反映してもらえるのか。			
答	基本設計を極端に変えない範囲で、事業費等も考慮して可能な範囲で反映していく。			
〔業者の決定方式について〕				
問	なぜプロポーザル方式を採用しなかったのか。			
答	プロポーザルで決まったものはなかなか変更することが難しいということで、基本構想、基本設計、実施設計の3段階で取り組んでいる。			
〔住民に対するワンストップサービスについて〕				
問	出生から死亡届まで1ヶ所で手続きを済ませる体制づくりについて			
答	現在は役場本庁舎とげんきかんで手続きを要する庁舎が複数のために村民に不便をかけているため、新庁舎においては手続きを要する課を1階に集約し、ワンストップで済むように計画している。			

〔事業費について〕

問 概算事業費 33 億円の今後の変更はあるか。

答 基本設計での概算事業費 33 億円がマックスと考えており、実施設計において削減できるところは削減して事業費の圧縮に努めるが、資材や人件費の高騰はまだまだ続いている状況なので増える可能性もある。

〔建設場所について〕

問 村長所有の土地を活用することについておかしいと思う。

建設場所を多目的グラウンドや野球場に変更したら、土地取得費もかからず、造成工事費も抑えられるのではないか。

答 事業費を抑えるため、用地を有効活用するためには村長の土地は必要と判断した。

多目的グラウンドを活用する場合は、起債目的が変わるため、多目的グラウンドを整備するために借り入れた起債残高を全額一括返済する必要がある。また、建設場所については令和 4 年 3 月に開催した住民説明会で説明し、議会の特別委員会でも意見集約していただいて決定した場所なので、これまでの経緯も踏まえて変更することは考えていない。

〔げんきかんを活用した医療・福祉・介護の連携について〕

意 現在の村民生活課が新庁舎へ移動されたあとも、医療、福祉、介護をしっかり連携とれるように絆を深めてほしい。

〔駐車スペースについて〕

問 駐車スペースが多いと思う。非常時はグラウンドや野球場を使用すれば、役場近辺に多くの駐車場は必要ないと思う。

答 冬場の駐車場確保、野球場の駐車場は現在路上駐車している状況なのでその対策、有事の際の一時避難場所に活用することで計画している。

〔新庁舎と防災ハザードマップについて〕

問 災害ハザードマップと合わせた新庁舎と地域づくりを。

答 新庁舎駐車場等は一時避難場所にも活用するので、今後のハザードマップ更新の際は新庁舎建設に合わせて地域の方々と話し合いながら更新内容を協議していきたい。

〔消防庁舎建設にあたり視察した消防庁舎、消防庁舎の女子署員への配慮について〕

問 視察した他市町村の消防署はあるか。また、女子署員への配慮について。

答 視察した消防署は下北管内の佐井消防分署、大畑消防署、大湊消防署の 3 ヶ所。

答 女子職員への配慮は、トイレ、仮眠室、洗面、ロッカー室を男女分離して計画している。

〔第一分団屯所の移転について〕

問 津波浸水想定区域内にある消防屯所の高台移転について

答 消防団幹部と協議しながら検討していく。

〔人口推計について〕

問 10年後の当村人口推計について

答 推計で17年後の令和22年で860人である。

〔ランニングコストについて〕

問 ランニングコストは2,500万から3,000万と想像できるが。

答 2,500万円ほど見込んでいる。

〔野球場隣の松の古木について〕

問 松の古木を伐採する予定か。

答 伐採しない計画である。

〔構造の選定について〕

問 鉄骨造を選択した理由は。

答 鉄骨造、鉄筋コンクリート造、木造を比較して、事業費が一番安価な鉄骨造を選択した。

〔入札制度について〕

問 設計をコンサルに委託した時点で談合になる。

答 役場内に設計をできる職員はいないので、コンサルに委託しているが、談合は無いと思っている。

〔避難所の整備について〕

問 各地区の避難所整備について。

答 国が示している基準である72時間分を確保できる発電や水等の確保を検討している。各地区の避難所についても避難時に快適に利用できるように今後も整備に取り組んでいく。

〔福島県の汚染土について〕

問 庁舎建設に汚染土を利用するのか。

答 汚染土を使用するつもりは全くない。

〔福島県の汚染土について〕

意 汚染土を受け入れることによる観光や一次産業への影響について考えてほしい。

〔新庁舎周辺の整備について〕

意 新庁舎周辺にウォーキングコースなどスポーツ公園と連携させたり、桜や紫陽花などを植樹して環境整備に取り組んでほしい。

接続道路の冬季間の路面凍結対策、防風対策にしっかり取り組んでほしい。

〔説明会の開催方法について〕

問 今後も変更される部分もあると思うが、今後も住民説明会を開催してほしい。
説明会資料を每户配付すべきではないか。

答 実施設計において大きな変更が無い限りは住民説明会の開催は予定していない。
説明会資料全部とはいかないが、概要を広報かざまうらに掲載予定である。

〔現庁舎等の解体について〕

問 現役場庁舎、中央公民館、消防分署の解体も並行して計画すべきではないか。

答 令和 8 年度に新庁舎へ移ることを計画しているので、それらの解体は令和 9 年度に計画し、財政運営計画にも計上している。

〔住民投票について〕

問 色んな意見があるので住民投票で決めたらどうか。

答 場所の選定の前回の住民説明会や議会特別委員会での意見集約などを経て決定している経緯もあるので、住民投票は考えていない。

〔質疑の事前受付、情報発信について〕

問 会議開催前に質問を受け付ければ、回答もスムーズで時間がかからないのではないかと。
ホームページなどで情報発信してほしい。

答 今後の会議を進めていくなかで検討させていただく。
広報のほかにも、ホームページを活用して情報共有、情報発信に努めていきたい。

蛇浦地区

〔国道 279 号からの接続道路について〕

問 冬場の接続道路の対策について

答 圧雪、アイスバーン現象が発生しますし、車の交通量も増えますので、様々な工法があるなかで、工事や維持管理費等含めて検討している。

意 庁舎を建設する前に道路を先に整備した方よい。

桑畑地区

〔高台移転後の住民対策、避難道対策について〕

問 高台移転することによってより不便になる特に車が無い住民への対応について。
新庁舎までに 1 本道しかない下風呂、桑畑地区の避難道対策について。

答 コミュニティバスのルート変更、増便、それと同時に他市町村で実施している小型車両での住民送迎などを現在庁内で検討しており、庁舎開設までに決定し住民に周知したいと考えている。

避難道については木野部から易国間間の風間浦バイパスが現在ルート計画を進めておりますが、それまでは桑畑地区においては避難所は桑畑温泉になるので、今後も不便を感じ

じないような対策を検討していく。

〔災害時の対応について〕

問 令和3年豪雨災害の際の役場の対応について

答 職員の対応が不十分だったことは十分反省しており、今後は避難指示を出す場合は防災無線によってサイレンを鳴らして避難指示を周知したいと考えている。役場職員の教育訓練の他、自主防災組織と連携して避難体制の確立に努めていきたい。

〔財政運営計画、建設場所について〕

問 財政運営計画について見てもわからない。こういうのは議会の委員会でやるべきことであって、見ても聞いても話は全くわからない。

前回の住民説明会の資料を改めて見て、デメリットが一番多い場所を選定しているが、なぜここに決定したのか。

答 各地区の自治会、消防団、漁協、教育関係、商工団体などの代表者で組織する検討委員会へ村から建設地の選定について諮問し、検討委員会から易国間古野地区高台と答申された。具体的な場所については行政に一任するというので、役場庁内で検討し野球場北西をこの場所を選定し、検討委員会へ報告して了承をいただいた。

〔盛土の量について〕

問 現状斜面の土地だと思うが、盛土はどれくらい行うか。

答 現段階の計画では約 20,000 m³の土が不要になる予定です。

〔道路対策について〕

問 冬期の道路対策について。

答 冬場の道路は圧雪、アイスバーン現象が発生しますし、庁舎ができると交通量も増えますので、なんらかの対策は必要であろうと、現在様々な方法があるなかで工事費や維持管理を含めて検討しているところ。

〔事業費について〕

問 今の33億が建設時にはいくらになるか想定しているか。

答 事業費は設計段階の単価で、人件費高騰、資材高騰を含めて事業費の中に積算している。

〔住民の交通について〕

問 車の運転ができない住民の交通対策について

答 車が無い方の役場庁舎への移動について、現状のようにコミュニティバスのように委託するのがいいのか、村単独で車を準備して職員がその車で巡回した方がいいのかなど、比較検討しているところであり、住民の方には不便をかけないように、また事業費もそれほどかからないような対策を考えております。

下風呂地区

〔場所の確認について〕

問 計画地の確認について

答 村民野球場の北西になる。

〔住民の交通対策について〕

問 新しい役場へ行くための交通について

答 現在運行しているコミュニティバスのルート変更や増便、その他に役場庁内で検討しているのが、小型車を利用して業者委託や村直営かは検討中だが、村内全域を巡回するなど、車の無い村民の皆さんが不便さを感じないような対策を検討中である。

〔住民への負担増について〕

問 一般住民に税額があがるなどの負担はないか。

答 税額が上がることは今は無い。村にとって有利な財源を活用することで、村の持ち出しである一般財源を少なくするように、令和7年度完成を目指して計画を進めている。

〔用地買収について〕

問 用地買収はすでに終了しているか。

答 敷地面積が大きいので開発許可が必要となり、その許可がおりしだい契約に着手します。地権者につきましては、了解はもらって事業を進めている。

〔財源について〕

問 地方債元利償還金の7割が交付税措置ということは、地方債18億のうち残るのはいくらか。財政運営計画に入っているか。

答 18億の7割が補填されるので残るのは5億4千万で、財政運営計画の公債費の欄に入っている。